

クロツラヘラサギ(絶滅危惧1A類)の生息地が危ない。

福岡市の博多湾ではアイランドシティ(人工島401ha)の埋立て工事が行われています。人工島は多くの渡り鳥が飛来する海を奪ってしまいました。しかしその埋立地に海水と埋立て土砂による湿地(水たまり)ができて、新しい「野鳥の楽園」ができました。冬になるとカモ類が4000羽以上、シギチドリ類も1000羽以上やってきます。そして日本で一番多く絶滅危惧種のクロツラヘラサギがやってくる(60~70羽)重要な場所になっています。この渡り鳥の楽園がもうすぐ埋め立てられようとしています。福岡市は悲しい過ちを再び繰り返そうとしています。私たちは、「埋め立て地の湿地の可能性」と「環境保全と開発のあり方」について問いかけます。



Black-faced Spoonbill



クロツラヘラサギは世界に約2000羽しかいないトナリの絶滅危惧種です。東アジアで最も親しまれている渡り鳥で「アジアンバード」と呼ばれています。日本では、九州・沖縄などで約200羽が越冬します。



▲埋立地でエサを捕るクロツラヘラサギたち

アイランドシティの

請願項目1

クロツラヘラサギを守ろう。

福岡市は保全をしないまま、絶滅危惧種のクロツラヘラサギが生息している湿地をもうすぐ埋立てようとしています。福岡市民にとって、クロツラヘラサギを守らないことは国際的に無責任で、とても恥ずかしいことです。

博多湾が地球規模で果たして来た環境特性を壊してはなりません。

私たちは、クロツラヘラサギと共生できる街づくりを願っています。

アイランドシティの

請願項目2

野鳥公園をもっと広く、もっと早く。

将来、福岡市はアイランドシティに野鳥公園をつくる予定ですが、わずか8.3ヘクタールの面積では狭すぎてたくさんの渡り鳥たちが利用できません。そしていつ完成するのかも決まっていないので、今ここにいる渡り鳥を守ることもできません。

渡り鳥を守れない野鳥公園で子供たちは何を学ぶのでしょうか？

野鳥公園は渡り鳥の生息地を守る大きな可能性を持っています。

私たちは、人工島の湿地を途切れさせずに生息場所を残しながら、野鳥公園をもっと広く、早く造ることを願っています。

吉田 宏 福岡市長さんへ

あなたのメッセージとサインを福岡市長に届けてください。



氏名：

住所：

ひとことメッセージ：

氏名：

住所：

ひとことメッセージ：

氏名：

住所：

ひとことメッセージ：

氏名：

住所：

ひとことメッセージ：

氏名：

住所：

ひとことメッセージ：

手紙は8月末(一次切り)までに下記へ郵送下さい。2次切りは11月15日です。

《主催》ウエットランドフォーラム 《担当》松本 e-mail: cocontei-matsu@nifty.com

福岡市南区塩原4-14-17-903 TEL092-542-5515 FAX092-542-5514 http://homepage3.nifty.com/wetlandforum/